

令和5年度 中津市社会福祉協議会 会費のご協力ありがとうございました

今年も自治委員の皆さまを通じて社協会費のご協力をお願いしたところ、多くの方々にご賛同をいただき貴重な会費をいただきました。

皆さまからお寄せいただいた会費は、山国地区の地域福祉の推進のため、各種福祉事業に大切に活用させていただきます。ご協力ありがとうございました。

令和5年度 山国地区実績 372,000円 (744口)

★広報啓発に係る経費

・「かかし」発行 (年6回)



★サロン活動支援

・サロン活動への助成



★見守りネットワーク支援

・見守り活動の助成

★福祉事業や活動支援

・福祉ボランティア講座

★配食活動支援

・民協配食活動への助成

〈会費はこのような事業に使わせていただきます〉



《相談日のお知らせ》

～心配ごと相談～

日時：10月11日(水) 9時～12時
11月8日(水) //

場所：山国社会福祉センター

山国地区の民生委員さんが、いろいろな心配事の相談に応じてくれます。お気軽にご相談ください。

～山国身近な相談日～

日時：9月21日(木) 13時～16時
10月19日(木) //

場所：山国社会福祉センター

生活支援コーディネーターが介護予防や生活支援について困りごとや不安などのお話を伺います。お気軽にお立ち寄りください。

TEL 62-2898

「ともだちひろば」のお知らせ

日時：9月20日(水) 10時半～11時半
10月11日(水) //

場所：山国社会福祉センター

内容：おはなし会



「ともだちひろば」は、三光児童館のスタッフが山国に出張し、読み聞かせやリズム遊びなど未就学児と保護者の方を対象としたイベントを行います。お気軽にお越しください。

新しい民生児童委員をご紹介!!

平小野地区

増永 彰男さん



【担当地区】

桑鶴・田の中・登・水洗・元組・徳組

前任の西郡明さん、長い間大変お疲れさまでした。

～職員紹介～

8月よりケアプランセンター山国に勤めるようになりました。山国生まれ山国育ちで、地元で働けることをうれしく思っています。また、これまで以上に山国の良さをたくさん発見していきたいと思えます。皆さま、どうぞ今後ともよろしくお願い致します。



介護支援専門員
益永 晶子

9月に入り、ようやく秋の気配を感じるようになりました。梨やぶどう、いちじく、新米等 秋の味覚がおいしい季節です。皆さんもたくさん食べて秋を満喫しましょう♪ (地域福祉推進係)

ちいき福祉だより

かかし

発行元:中津市社会福祉協議会

地域福祉課 地域福祉推進係山国
(山国社会福祉センター内)

〒871-0712

中津市山国町守実89番地1

TEL: 62-2898 FAX: 62-2905

7月10日、被害をもたらした梅雨前線 豪雨が残したツメ跡！またしても！



被災された皆さまに、心よりお見舞い申し上げます。

平成29年7月5日の「九州北部豪雨」から6年、令和5年7月10日夜明け前の雷雨、豪雨の中、「またもや災害が？」の悪い予感が脳裏をかすめました。

豪雨が過ぎ去った後、目にした光景は容赦ない自然の猛威でした。山からの土石流による家屋の全壊、半壊、川の氾濫や山からの出水による床上浸水、床下浸水、道路、水路の決壊など目を覆いたくなる現実がありました。

地域のつながりにより、いち早く復旧に乗り出した地域住民や団体の活動がありましたが、被害の甚大さから中津社会福祉協議会では、被災された方を支援する支援ボランティアの募集を行い、連日、県内外から多くの支援ボランティアが駆けつけて山国地区、耶馬溪地区、本耶馬地区の復旧にあたりました。

町内の被災状況・・・全壊、床上浸水・・・16件
床下浸水・・・25件
調査件数・・・60件 (うちニーズ件数 35件)

ボランティアの皆様へ感謝!!

被災されたご家庭に入り、床下や家屋の中に流入した土砂出し、被災した生活用品の搬出、ある時は、被災された方々と和やかに会話をしている光景を目にしました。

ある被災者は「今回、ボランティアの支援を初めて受け感動しました。今後どこかで災害があった時は、自分がボランティアとしていきたい。」とおっしゃっていました。「絆」や「つながり」が災害にも負けない原動力となっています。



スーパーボランティアも駆けつけました!



まずはオリエンテーションから
(本日の作業内容を確認します)



若い力! 別府大学から45名参加



一日も早い復旧をめざして



大量の土砂が屋内に流入

中津市社会福祉協議会では、7/13~8/16までの間、計13日間被災された方々へのボランティアによる支援を行い、多くのボランティアの方々にご参加いただきました。

山国地区には、市内県内はもちろん遠くは関東、関西方面の方々や九州各県から延べ564名のボランティアの方々にご支援いただきました。大変暑い中、ご協力いただいた皆さまありがとうございました。

【ボランティアに参加いただいた方々】

- ・市内
- ・県内 (大分、別府、宇佐、豊後高田、国東、杵築、臼杵、津久見、佐伯、豊後大野、玖珠、九重、日出)
- ・県外 (福岡、北九州、久留米、豊前、上毛、長崎、熊本、阿蘇、宇土、宮崎、鹿児島、大阪、京都、広島、山口、愛知、愛媛、鳥取、埼玉)

ボランティアと被災された方へのインタビュー

ボランティア 苅北 隆義さん (平小野地区在住) (大分県商工会青年部連合会副会長)



□苅北さんが所属する団体について教えてください

自分は中津しもぎ商工会青年部に所属しています。過去の災害で地元だけで復旧することは難しいと痛感し、そのことを教訓に3団体(中津しもぎ商工会青年部、中津青年会議所、中津商工会議所青年部)で災害協定を結びました。今回、地元の被害を見て、山国から3団体に発信し7月12日から活動を行いました。

□どんな思いで活動に取り組みましたか?

自分は山国で生まれて山国で育ち、地元で会社を興させてもらっています。いつも助けてもらい、年上の方は兄であり姉であり、先輩であり、ともに助け合う関係であると思っているので、この一大事に体が動きました。

□仲間のボランティアの声は?

「被災者の現状を見たらゆっくりしている時間はない」と体を動かしていました。

□活動を終えて思うことは?

まだまだ力不足だったと悔いがの残ります。山国地区も高齢化しているので、力仕事は厳しい面も出てくると思うので、私たちのような若いものが頑張ればと思っています。被災されたご家庭には一日も早い復興をお祈りしています。



被災者 寺野 美智子さん(平小野地区)



□今回の被害について教えてください

今まで以上に大きな被害だったと思います。

真っ先に地区の方々や地元のボランティア団体の皆さんが毎日手伝いに入ってくれ、泥出しや片付けなどしていただき大変ありがたかったです。本当にありがとうございました。

また、ボランティア団体の若い方たちにアドバイスや声かけをしてもらって安心できました。

□状況は? 落ち着きましたか?

だいぶ日常を取り戻しましたが、「この年になって、ここに住んでいていいのかな?」とか、「異常気象だからとはいえ、どこに怒りをぶつけたらいいのかな...」など自問自答することが増えました。